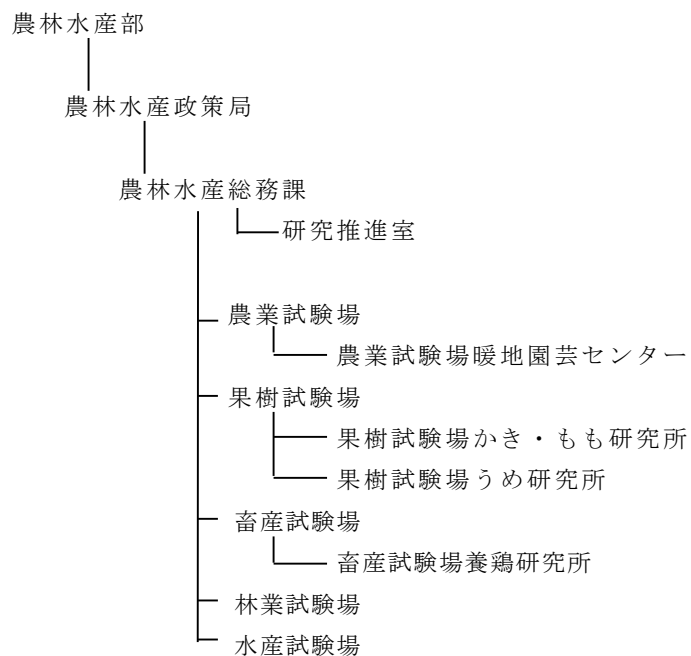


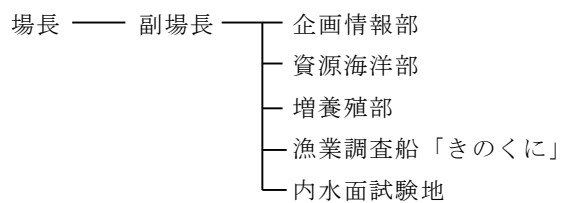
水産試験場概要

I 機構と組織

1. 機構



2. 内部組織



3. 職員の構成

区 分	行政職	研究職	現業職	計
場長		1		1
副場長		1		1
企画情報部		2	1	3
資源海洋部		5		5
増養殖部	1	5		6
漁業調査船	6			6
内水面試験地		4		4
	7	18	1	26

4. 職員と事務分担

部名	職名	氏名	事務分担
	場 長	岩橋 恵洋	場の総合企画及び総括に関すること
	副場長	小川 満也	場長の補佐, 人事, 服務, 庁舎の管理, 予算の総括に関すること
企画情報部	部 長	葦澤 崇博	部の総括・企画調整, 流通対策, 庶務, 成果の公表・普及に関すること
	主任研究員	木下 浩樹	藻場造成(ホンダワラ類)・魚礁調査に関すること
	用務員	田中 千秋	庁舎内の清掃に関すること
資源海洋部	部 長	武田 保幸	部の総括・企画調整, 漁海況速報に関すること
	主査研究員	安江 尚孝	漁業資源・漁場調査と情報提供(総括), 海洋観測に関すること
	主査研究員	山根 弘士	高精度海況図, 海況日報作成, 船びき網漁業, 高度回遊性魚類(マグロ類)に関すること
	副主査研究員	武田 崇史	卵稚仔調査, まき網漁業, 資源管理・回復推進に関すること
	副主査研究員	陶山 公彦	高度回遊性魚類(カツオ), カツオマップ, 水産重要種の移動・回遊に関すること
増養殖部	部 長	森 康雅	部の総括・企画調整, 飼育施設等の保守管理に関すること
	主査研究員	堅田 昌英	水産衛生対策, 漁場環境(赤潮・貝毒)に関すること
	主査研究員	加藤 文仁	魚類種苗生産・養殖, 栽培漁業に関すること
	主 査	佐々木明生	調査研究の補助, 船舶「なぎ丸」・海上筏の管理に関すること
	副主査研究員	竜田 直樹	藻場造成(コンブ目), スマの種苗生産・養殖に関すること
	研究員	北村 章博	漁場環境(生物モニタリング), 介類増養殖, 魚礁調査(投石)に関すること
漁業調査船 (きのくに)	船 長	西 博	船舶の管理・運航, 海洋観測調査, 飼育施設等の保守管理に関すること
	機関長	岸 幸一	〃
	主査航海士	小西 寛弥	〃
	主査機関士	平見 謹一	〃
	主査機関士	堀 浩一	〃
	副主査航海士	住谷 勝志	〃
内水面試験地	主任研究員	林 寛文	ウナギ資源に関すること
	主査研究員	河合 俊輔	水産衛生対策, アユ冷水病対策に関すること
	副主査研究員	中西 一	内水面漁業・養殖技術指導に関すること
	研究員	賀集 健太	アユ資源, 飼育試験に関すること

Ⅱ 業務

1. 試験研究項目一覧

単位（千円）

事業名又は課題名	財源内訳				
	予算額	国庫	使用料・手数料	諸収入	一般財源
水産試験場費	638,895	28,663	2,067		608,189
水産試験場運営	47,193				47,193
内水面試験地運営	19,389		2,067		17,322
調査船運航	4,997				4,997
代船建造	528,747				528,747
シロアマダイの種苗生産技術の開発	1,811				1,811
天然ヒジキ増大に向けたヒジキ移植技術の開発 ～人工種苗を用いた早期移植の試み～	1,326				1,326
漁業資源・漁場調査と情報提供	17,333	17,333			
高度回遊性魚類調査	7,200	7,200			
水産重要種の移動・回遊状況に関する基礎研究	424				424
餌料仔魚を給餌しないスマ種苗生産技術の開発	2,530				2,530
水産衛生対策	1,704	864			864
病害微生物モニタリングのための基礎研究	500				500
海域の栄養塩環境が二枚貝生産に及ぼす影響調査	1,500	1,500			
アユ資源量に関する基礎調査	475				475
抗菌剤を使用しないアユ冷水病防除技術の開発 ～早期実用化への試み～	2,000				2,000
シラスウナギ来遊量調査	500	500			
環境収容力推定手法開発	1,266	1,266			
水産業振興費	2,424				2,424
資源管理・回復推進(資源管理課)	1,301				1,301
漁場環境保全等モニタリング(資源管理課)	71				71
栽培漁業推進（水産振興課）	1,052				1,052
漁業調整費	54				54
漁業・遊漁調整（資源管理課）	54				54
漁業構造改善費	750				750
漁場効果調査（水産振興課）	750				750
	642,123	28,663	2,067		611,417

Ⅲ 業績

1. 外部に発表した事項

- (1) 一般雑誌 なし
- (2) 書籍 なし
- (3) 学会等の発表 なし
- (4) 委託事業報告書等刊行物
 - 1) 漁海況速報（週刊）
 - 2) 人工衛星画像海況速報（2019-No.33～122、2020-No.1～32）

(5) 農林水産省研究会等資料

題 名	発 表 者	発 表 誌
・ 2019 年におけるカツオひき縄春漁の経過	山根 弘士	平成 31 年度国際漁業資源評価調査 ・ 情報提供委託事業第 1 回カツオ SU 推進検討会資料
・ 2019 年のカツオ漁況について	山根 弘士	令和元年度国際水産資源調査・評価 事業第 3 回カツオ SU 推進検討会資 料
・ 黒潮大蛇行期における和歌山県沿岸のカツオ漁況と漁 場	山根 弘士	令和元年度カツオ研究部会
・ 平成 31 年度中央ブロック資源評価および第 1 回太平洋 イワシ、アジ、サバ等長期漁海況予報について	安江 尚孝 武田 崇史 陶山 公彦	平成 31 年度中央ブロック資源評価 会議および第 1 回太平洋イワシ、ア ジ、サバ等長期漁海況予報会議資料
・ 平成 31 年度瀬戸内海ブロックにおけるサワラ、カタク チイワシ・マダイ等の資源評価について	安江 尚孝 山根 弘士 武田 崇史	平成 31 年度瀬戸内海ブロック資源 評価会議資料
・ 平成 31 年度中央ブロック第 2 回太平洋イワシ、アジ、 サバ等の長期漁海況予報および資源評価について	安江 尚孝 武田 崇史 陶山 公彦	平成 31 年度中央ブロック第 2 回太 平洋イワシ、アジ、サバ等長期漁海 況予報会議、第 3 回資源評価調査担 当者会議資料
・ 養殖場高度化推進研究センター（CAINES）第 1 回セミ ナー	堅田 昌英	養殖場高度化推進研究センター （CAINES）第 1 回セミナー資料
・ 第 17 回種苗生産技術交流会	堅田 昌英	第 17 回種苗生産技術交流会資料
・ 第 26 回陸上養殖勉強会	堅田 昌英	第 26 回陸上養殖勉強会資料
・ LAMP 法による海産白点虫の検出	堅田 昌英	令和元年度瀬戸内海・四国ブロック 魚病検討会資料
・ 令和元年度介類分科会	堅田 昌英	令和元年度介類分科会資料
・ 令和元年度水産用医薬品薬事監視講習会	堅田 昌英	令和元年度水産用医薬品薬事監視 講習会資料
・ LAMP 法による海産白点虫の検出	堅田 昌英	令和元年度養殖衛生管理体制整備 事業太平洋ブロック地域合同検討 会資料
・ 令和元年度生産環境部会・資源生産部会合	堅田 昌英	令和元年度生産環境部会・資源生産 部会合同シンポジウム資料
・ 令和元年度ブリ類の難治癒疾病連絡協議会	堅田 昌英	令和元年度ブリ類の難治癒疾病連 絡協議会資料
・ 令和元年度魚病症例研究会	堅田 昌英 河合 俊輔	令和元年度魚病症例研究会資料
・ 令和元年度水産増養殖関係研究開発推進会議魚病部会	堅田 昌英 河合 俊輔	令和元年度水産増養殖関係研究開 発推進会議魚病部会資料
・ 第 12 回 LAMP 研究会	堅田 昌英	第 12 回 LAMP 研究会資料
・ LAMP 法による病原体の検出 ー迅速・簡便・高感度な魚病診断およびモニタリング に向けてー	堅田 昌英	養殖場高度化推進研究センター （CAINES）第 4 回セミナー資料

・第28回陸上養殖勉強会	堅田 昌英	第28回陸上養殖勉強会資料
・平成31年1～令和元年10月の和歌山県における赤潮及び貝毒の発生状況	堅田 昌英	令和元年度漁場環境保全関係研究開発推進会議 赤潮・貝毒部会資料
・研究機関情勢に係る報告	森 康雅	令和元年度瀬戸内海ブロック水産業関係研究開発推進会議 生産環境部会資料
・紀伊水道の栄養塩環境が二枚貝生産に及ぼす影響解明について	北村 章博	令和元年度漁場環境改善推進事業「栄養塩の水産資源に及ぼす影響の調査」計画検討会議資料
・紀伊水道の栄養塩環境が二枚貝生産に及ぼす影響解明について	北村 章博	令和元年度漁場環境改善推進事業「栄養塩の水産資源に及ぼす影響の調査」結果検討会議資料
・令和元年度種苗生産・放流状況に関する情報提供	北村 章博	令和元年度ナマコ種苗生産研究会資料
・アユ養殖場におけるエドワジエラ・イクタルリ感染症発生例	河合 俊輔	第33回近畿中国四国ブロック内水面魚類防疫検討会資料
・2018年夏季にアユ養殖場で発生したエロモナス属細菌によるへい死について	河合 俊輔	令和元年度アユの疾病研究部会資料
・令和元年度養殖衛生管理技術者養成本科基礎コース研修	河合 俊輔	同研修資料

(6)新聞掲載

記事見出し（内容）	掲載年月日	掲載誌名
・人工種苗でヒジキ養殖	2019.6.15	紀伊民報
・カツオ漁 今年是好調	2019.6.19	読売新聞
・続く黒潮大蛇行影響は	2019.6.27	毎日新聞
・本年度は計6回実施予定 和歌山県 MH 賦存状況調査始まる	2019.6.30	熊野新聞
・19年のカツオ水揚げ 過去6年間で最高	2020.2.5	紀伊民報

(7)研究発表会

1) 県内養殖衛生対策会議

実施日

令和元年11月15日

場 所

水産試験場学習ホール

内 容（発表題目、発表者）

・LAMP 法による海産白点病の検出	増養殖部	堅田 昌英
・水産用医薬品の適正使用について	増養殖部	堅田 昌英
・シロアマダイの種苗生産技術の開発について	増養殖部	加藤 文仁
・スマ種苗生産の安定化技術開発について	増養殖部	竜田 直樹
・串本浅海・うらみ養殖場の漁場環境について	増養殖部	北村 章博

2)内水面養殖衛生対策会議

実施日

令和元年 10 月 21 日

場 所

内水面試験地会議室

内 容

- ・ 疾病発生状況について
- ・ 水産用医薬品の適正使用について
- ・ エドワジエラ・イクタルリ感染症について

内水面試験地	河合 俊輔
内水面試験地	河合 俊輔
内水面試験地	河合 俊輔

(8)水産試験場成果発表会

実施日

令和 2 年 2 月 6 日

場 所

紀南文化会館小ホール(田辺市)

共 催

公益財団法人わかやま産業振興財団

内 容 (講演及び発表題目, 講演者及び発表者)

基調講演 「大阪における浜の再生に向けた取り組みについて」

大阪・泉州広域水産業再生委員会 事務局長 森 政次 氏

成果発表

- ・ 海況と浮魚礁から見た 2019 年カツオ漁況
- ・ LANP 法による海産白点病の検出
- ・ アユ資源変動に関する要因

資源海洋部	山根 弘士
増養殖部	堅田 昌英
内水面試験地	賀集 健太

2. 研修生・見学者の受け入れ

(1)研修生の受け入れ

1)地域社会体験研修

串本西中学校 (1 名) 8 月 1 日～2 日

2)インターンシップ

- ・ 長期インターンシップ

県立串本古座高校 (2 年生 2 名)

9 月 6 日, 9 月 20 日, 10 月 4 日, 11 月 8 日, 11 月 15 日
12 月 6 日, 11 月 15 日, 12 月 6 日, 12 月 13 日

- ・ 大学生インターンシップ (3 年生 2 名) 8 月 26 日～30 日, 9 月 9 日～13 日

3)職場体験学習

串本西中学校 (2 年生 1 名)

9 月 25 日～28 日